



心と行

2018年5月1日発行
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113
鹿児島市東谷山2-33-13
TEL 099-268-2084
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田勇二郎 Sr.下川千穂子 岸誠之助

「喜び、そして平和」

主のご復活を迎えてのち、早4週間が過ぎました。今年は3月末日という早目の復活祭でした。ですから、来月13日に主の昇天、そしてその次の20日に聖霊降臨です。谷山教会としては聖霊に捧げられた記念の日を迎えます。おめでとうございます！谷山共同体として特に祝いはしませんが、祈りましょう。今年もまた一年をかけて「共に暮らす家を大切に」をテーマに掲げ、真の喜びと平和を求め、私たちのうちから福音が溢れてますようにと。

◆「より少ないことは・・・」

人は、誰しも今より「豊かでありたい」と思うものです。しかし、その思いが過ぎ、心取り乱されれば、元も子もありません。心もまた豊かであることが本来の目的だからです。財を蓄えたあとで「さあ、これから先、何年も生きていくだけの蓄えができたぞ」(ルカ 12:19)と言って、遊んだり、食べたりしようとする話があります。そこでは、イエス様の厳しい言葉がこのあとに続きます。「愚か者よ。今夜、お前の命は取り上げられる」と。大金持ちになって豊かな暮らしができたとしても、その命を失えば一体何の得になるうか。むしろ、「より少ない」ことの方が、実は心はより豊かになることを暗に教える話です。現在社会は、余りに多くの情報が氾濫し、私たちはその度に心惑わし、一喜一憂しています。大切なことはただ一つ。些細な出来事にも心を留め、過ぎ去る一瞬間にも目を凝らすことではないでしょうか。

◆「山路来て・・・」

かつて、俳人松尾芭蕉は、息せき切りながら、山の路を歩いておりました。ところが、ふと足を止めて、足元に視線を落とすと、そこに「何やらゆかし」、可憐な「すみれぐさ」が咲いている。春の山路は、まだ肌寒い時節、芭蕉の足は、野に咲く花に止められました。かくも一生懸命になって山路を登る芭蕉の心を留めたのは、道端に咲く小さな花でした。そのありのままの質素な美しさに心惹かれる芭蕉がいます。なぜ、そんなに先を急ぐのか、何

をそんなにあたふたと働くのか。「野の花、空の鳥を見よ」と思わず、イエス様の言葉を思い出します。

◆「小さい魚が少しばかり・・・」

イエス様は、大勢の群衆に取り囲まれ、三日間も説教をし続けて、一緒に過ごしています。もう食べるものなどはありません。パンは七つだけ、「それに小さな魚が少しばかり」です。弟子たちの消え入りそうな嘆願の声は、イエス様を動かしました。イエス様にとってそれは僅かではない。十分に感謝できる食べ物です。これを手に取り、祝福して感謝の祈りを唱えられた、と聖書は記します。私たちもミサの時、あの小さなパンをいただきます。量的に言って、満腹になりません。しかし、そこから溢れ出る神様のお恵みは実に大きく、計り知れない賜物に満ちています。大きなものを失って悲しむより、小さなものに立ち止まり味わうことが、どんな大きな喜びでしょうか。

◆自由と解放へ

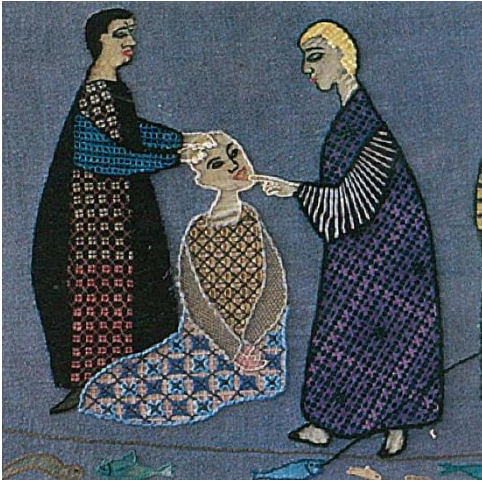
真の喜びは自由です。本当の平和は解放にあるのです。自由とは、有り余るほどのお金をもって、好き勝手に生きることではないでしょう。本物は自己を一時的に満足させることではなく、欲深い自己から解放されることです。自我からも自由になり、かつそれを意識的に生きる人になることです。このような人は、自分が何も持っていないことに振り回されないで、まさに自由に生きられる人です。なんて平和なことでしょう。

主任司祭 頭島 光 神父

今月の聖人から

ベバリーの聖ヨハネ司教

5月7日



イギリスの東部のベバリーの教会は、国中で最も美しいカテドラルだと言われている。それを建てた人はベバリーのヨハネ司教であった。

ヨハネは、福音史家聖ヨハネに捧げられた小さな教会の傍に修道院を建てて住み、721年に死去した後、ここに埋葬された。ベダによると、ベバリーのヨハネは病気を癒す賜物を与えられていて、生まれてから一語も話せなかった口のきけない少年を癒して、アルファベットを教えたりすることが出来た。また激しい苦しみのため3週間も動けなかった女性を直したり、瀕死の状態にあった数人の人を祈りで救うことが出来た。

聖人の死後も、このような奇跡は墓の傍で続いたので、そこは有名な巡礼の場所となった。彼はヨークシャーの小さな村で生まれ、ケントで修道司祭となり、後にヨークの司教になったが、辞職後の最後の4年間は修道院で静かな余生を送った。彼が列聖されたのは1037年であった。

Taniyama CC NEWS

信徒総会 4月22日

第二ミサ後10時15分から開催され11時15分に終了しました。出席者数は67名でした。平成29年度教会行事活動報告、収支決算報告がなされ、続いて平成30年度教会行事活動計画案、収支予算書案が説明され、それぞれ承認されました。同じく平成30年度新評議員及び活動団体の承認もありました。

以下は主任司祭頭島光神父様のご挨拶の一部抄録です。「前年度から引き続いて今年度の小教区のテーマは“共に暮らす家を大切に”としましたが、これは教皇様の回勅の副題から頂いたもので、現代に生きる私たちには、貴重な遺産である現在の環境を後代に残し引き継いでいく義務があるということ。それは地球規模であろうと、小教区という小さな枠組みであろうと変わりはなく、私たちの住む世界を守ってゆかねばならないのです。」

「谷山教会の全ての建物を観察し、修復すべき点を洗い出すことが出来ました。そして約3000万円をかけて(レデンプトール修道会からの借入金1000万円を含む)、電気関係の再構築とクレメ



ンスホールと聖堂の空調設備新設・改修に手を付けることが出来ました。」

「クレメンスホールの誕生で、地域に開かれた会館が出来ました。先駆けとして現在、隔月一回の“健康講座”があり、近隣町内会の人々も参加しています。」

「昨年同様、今年も北薩信徒大会に谷山共同体は参加します。北薩地区では高齢化が甚だしく、若い信徒や子供たちが非常に少ない状態にあります。谷山共同体が参画することによってこのエリアが活性化することを目指します。“出向いていくことは”大変ですが、同じレデンプトール会の信徒として手助けが出来れば、ということです。」



ムイベルガ神父のアンテナ

信頼について

「信頼」という言葉を私たちは何気なく使いますが、その言葉の意味は何でしょうか。ある辞書によりますと、「信じて頼りにすること。頼りになると信じること。また、その気持ち。」とあります。誰か、または、何かに対して信頼を持っていますと、正しい行いのあと、彼ら(または、それら)から与えられるであろう良い結果を、私たちは、ただひたすら期待して待つことができます。あるいは、彼ら(または、それら)が自分を守ってくれていると、実感できるかもしれません。困難な状況にある時に、“支え＝生きる糧”が私たちにいつでも用意されているという安心感は、信頼した誰かから、または、なにかからもたらされます。そして、信頼から与えられる安心感は、私たちのさらなる行いの基盤になってくれます。

神への信頼について、パウロは何と書いているでしょうか。少し読んでみましょう。

1) コリント 3・4

「これほどの確信を、私たちはキリストによって神のみ前で抱いています。」

2) エフェソ 3・12

「このキリストによって結ばれた私たちは、キリストを信じることによって、臆することなく、確信を持って歩みを進めることができます。」

3) フィリピ 3・3

「神の霊によって礼拝し、キリスト・イエスを拠りどころとして誇り、肉に信頼をおくことをしないわたしたちこそ、まことの割礼者なのです。」

4) テサロケ 2・2

「それどころか、ご承知のとおり、私たちはあなたがたの所へ行く前にフィリピで痛めつけられ、侮られてきていましたので、苦闘のさなかにあっても、私たちの神のおかげで、むしろ大胆に、あなたがたに神の福音を語ることができました。」

5) テモテ 5・5

「しかし、全く寄る辺のない、独り暮らしのやもめは、神に望みを置き、昼も夜も絶えず神に願い、

祈りに励んでいます。」

また、イエス・キリストが教えて下さった“主の祈り”は、父なる神への信頼を表現しています。それは、私たちの神へのいのりを強めてくれます。この祈りによって、私たちの神への信頼は、ヒンズー教や神道などの他の神々にではなく、私たちがほめたたえることのできる天の父に向けることができます。そして、父なる神が私たちが救ってくださることが神の栄光であり、その救いに対し、父なる神に私たちが感謝することが神の喜びであると、この祈りは教えてくれるのです。

ヨハネは黙示録の中で書きました。

「今おられ、以前おられた方、全能である神、主よ、感謝いたします。大いなる力を奮って統治されたからです。」このように、神への信頼と神への(感謝の)祈りとは、神によってお互い結びつけられています。

ナジアンゾスの聖グレゴリオスは、次のように言っています。「神は、いついかなる時も私たちを見捨てないということは、神に祈る私たちへの大きな励みである。」

とはいえ、私たちの神への信頼に対する試練が、日常の中で時々起こりえます。その時、私たちが陥る絶望、憂鬱、或いは誤った判断などは、悪への強力な誘惑になるかもしれません。聖人レオ一世教皇は、次の助言を与えて下さっています。

「(試練の時には) 自分の正義感や意見を神に主張しない方が良いでしょう。と同時に、神の憐れみを疑わないように、と私は教えたいと思います。」

このようにして、私たちは神への信頼を深めていくことがきっとできるにちがいません。



平成30年 谷山教会5月の予定と祝日表 (5/1~5/31) 西暦2018年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
5月1日 (火)	記念日 労働者聖ヨセフ 6:30 朝ミサ ひまわり幼稚園創立記念日			
2日 (水)	記念日 聖アタナシオ司教教会博士 19:00 水曜ミサ ミサ後 典礼委員会			
3日 (木)	祝日 聖フィリポ・聖ヤコブ使徒 6:30 朝ミサ	国民の祝日(憲法記念日)		
4日 (金)	19:00 初金ミサ	国民の祝日(みどりの日)		
5日 (土)	19:00 復活節第6主日のミサ	国民の祝日(こどもの日)	(6)(7)	⑥⑦掃除後教会
6日 (日)	6:30と9:00 ミサ後 10:30 復活節第6主日 教会学校 やすらぎドーム総会		源元・吉留	
7日 (月)	6:30 朝ミサ			
8日 (火)	6:30 朝ミサ			
9日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 受堅準備勉強会 3			
10日 (木)	6:30 朝ミサ 19:00 サビエル実行委員会			班会お休み班 ②③④⑤⑪
11日 (金)	6:30 朝ミサ			
12日 (土)	19:00 主の昇天のミサ		(8)(9)	⑧⑨掃除後教会
13日 (日)	6:30と9:00 ミサ後 主の昇天 教会学校		村山・田代	
14日 (月)	祝日 聖マリア使徒 6:30 朝ミサ			
15日 (火)	6:30 朝ミサ			
16日 (水)	15:00 市内主任司祭会議 19:00 水曜ミサ			
17日 (木)	6:30 朝ミサ			
18日 (金)	6:30 朝ミサ			
19日 (土)	13:00 ミャンマーミニコンサート ~16:30 19:00 聖霊降臨の主日のミサ		上原・吉留	(10) ⑩掃除後教会
20日 (日)	6:30と10:00 聖霊降臨の主日 北薩大会in出水	聖アルフォンソ合唱団 モーツァルトの戴冠ミサ曲奉献		
21日 (月)	6:30 朝ミサ			
22日 (火)	6:30 朝ミサ			
23日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 受堅準備勉強会 4			
24日 (木)	6:30 朝ミサ			
25日 (金)	6:30 朝ミサ ひまわり幼稚園新任研修会			
26日 (土)	記念日 聖フィリポ・初司祭 19:00 三位一体の主日のミサ		(1)	①掃除後教会
27日 (日)	6:30と9:00 ミサ後 三位一体の主日 教会学校		塩貝・橋口	
28日 (月)	6:30 朝ミサ			
29日 (火)	6:30 朝ミサ			
30日 (水)	19:00 水曜ミサ			
31日 (木)	祝日 聖母の訪問 6:30 朝ミサ			
ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]		1日、8日、15日、22日、29日	
聖書を学ぶ勉強会 (エルミヤ書)	[毎週(水) 10:00]		2日、9日、16日、23日、30日	
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]			
聖書と教理- I	[毎週(木) 15:00~16:30]		3日、10日、17日、24日、31日	
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]		10日、17日、24日、31日	
聖書と教理- II	[毎週(金) 9:00~10:00]		3日の第1回はサビエルで7:00から	
			4日、11日、18日、25日	

奉納は掃除当番班が行う
五月の行事当番は八・九班

平成30年度(2018年)第1回 司牧評議会の報告

2018. 4.15 ミサ後開催

【審議事項】

1. 今年度の班長とすべての役員の名簿が作成され、承認されました。一年間、よろしくお願ひします。
2. 財務委員より平成29年度財務報告書及び平成30年度予算(案)の報告があり、承認されました。

【日程のお知らせ】

- | | |
|------------|---|
| 4月 15日(日) | 9:00～ ミサ後 司牧評議会 (新年度役員顔合わせ) |
| 22日(日) | 9:00～ ミサ後 「 <u>2018年度・信徒総会</u> 」 |
| 5月 2日(水) | 19:00～ ミサ後 典礼委員会 |
| 3日～5日 | 主任司祭休暇留守 |
| 6日(日) | 9:00～ ミサ後 「 <u>2018年度・やすらぎのドーム総会</u> 」 |
| 9日(水) | 19:00～ ミサ後、堅信者勉強会 |
| 20日(日) | 10:00～ 聖霊降臨の主日ミサ アルフォンソ合唱団ミサ曲奉献 |
| 同日 | <カトリック北薩信徒大会> 於:出水教会
13:00～受付 13:30 開会 ～16:30 閉会
郡山司教様の講演後、司教ミサ。ミサ中で堅信式があります。 |
| 23日(水) | 19:00～ ミサ後、堅信者勉強会 |
| 5月 27日～28日 | 宗教法人役員会のため主任司祭留守 |
| 6月 1日(金) | 19:00～ 初金ミサ後、典礼委員会 |
| 6月 3日(日) | 9:00～ ミサ後 敬老会 |

【その他】

*今年度の行事予定について

- ・敬老会は昨年、台風で中止になったので、その心配のない6月3日(日)ミサ後に行くことになりました。昨年と今年77歳の方と80歳以上の方がお祝いの対象者です。
- ・10月28日(日) ミサ後 バザー
- ・草刈りは草の生え方をみながら、日程を連絡して、行って行きますので協力をお願いします。

*班の編成について話し合います。各班の意見をまとめて司牧評議会に出して下さい。

- ・掃除の時に人が足りない、班は今までのままで、掃除の時だけの班をつくる。という提案がありました。

(以上のことが話し合われ承認されました)

《総会の報告》

4月22日(日) ミサ後 「平成30年度(2018年度)信徒総会」が行われました。

報告の通りすべての議事が承認されました。(出席者 67名)